

【主担当部局：教育委員会】

県民の皆さんとめざす姿（令和5年度末での到達目標）

子どもたちが、急速な技術革新等により変化が激しく予測困難な社会にあっても、変化を前向きに受け止め、社会の一員としての自覚と責任を持ち、自らの感性や創造性を発揮して、他者との絆を大切にしながら、豊かな未来を創っていく力を身につけています。

主指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
自立した主体として、社会において権利を行使し責任を果たそうと考える高校生の割合		65.3%				74.3%
	62.3%					
目標項目の説明と令和2年度目標値の考え方						
目標項目の説明	「社会の一員として権利を行使し、義務と責任を果たそうと考えていますか」、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」という質問に対して肯定的な回答をした県立高校生の割合					
2年度目標値の考え方	全国学力・学習状況調査における中学生への同内容の質問に対する回答の伸びが、4年間で約10ポイント（2.6ポイント/年）伸びていることをふまえるとともに、新学習指導要領の実施に向けた授業改善、主権者教育や消費者教育等に取り組むことにより、毎年3ポイント上昇させることとして、目標値を設定しました。					

副指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
社会的な課題について話し合う活動を行っている高等学校の数		27校				56校
	20校 (30年度)					
目標を持って学習や活動に取り組んでいる子どもたちの割合		小学生 89.2% 中学生 87.5% 高校生 68.1%				小学生 92.0% 中学生 90.0% 高校生 75.0%
	小学生 88.2% 中学生 86.6% 高校生 65.9%					

副指標	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
目標項目	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
「困難だと思うことでも、前向きに考えて挑戦している」と答えた高校生の割合		73.0%				76.0%
	71.8%					

現状と課題

- ①「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会、異なる個性や能力を持つ一人ひとりが尊重され、誰もが自分らしく参加・活躍できるダイバーシティ社会の実現が求められている中で、これからの教育においては、子どもたちにこうした社会づくりに向けて小さなことでも変化を起こし試行錯誤してやり切ろうとする素養を育んでいくことが必要です。
- ②平成28（2016）年から選挙権年齢が18歳に、令和4（2022）年4月からは成年年齢が18歳となる中で、学校教育において、子どもたちが早い段階から自由・権利や責任・義務に向き合い、社会を形成していく力を育んでいくことがより重要となっています。
- ③社会が急速に変化し雇用形態の多様化等が進む中、子どもたちが、将来、自らの能力等を発揮し、自立した社会人として活躍することができるよう、自らの生き方や働き方について考えを深め、職業生活に必要な知識や技能を育むことや、学習内容と社会のつながりを意識した教育の必要性が一層高まっています。
- ④グローバル化や人口減少が進む中、子どもたちに、異なる文化に対する理解や英語コミュニケーション力、地球的な視野で考え行動できる態度を養うとともに、郷土の豊かな自然や歴史、文化等について理解し、郷土への誇りや愛着を持ち、世界や地域で活躍できる力を育んでいくことが求められています。
- ⑤AI、ビッグデータ等をはじめとする技術革新が進み、これらの先端技術を社会生活等に取り入れ、社会的課題の解決等を図る超スマート社会（Society 5.0）が進展する中、子どもたちに先端技術を使いこなしながら人間ならではの考え方で課題を解決していくことができる力を育むことが必要です。

令和2年度の実践方向

- ①子どもたちに、社会の形成者としての自覚と責任を持ち、自ら考え判断し課題の解決に向けて主体的に行動する力を育むため、発達段階に応じた主権者教育、消費者教育、環境教育等に取り組みます。
- ②地域の高校において、地域を学び場とした「地域課題解決型」のキャリア教育を進め、生徒が地域課題や第一次産業・観光等の地域の特色ある産業を通じて、地域住民や職業人と関わりながら実社会での実践活動に取り組み、さまざまな変化に積極的に向き合い、他者と協働する力や自己と社会の関わりを深く考える力など、社会の変化に対応できる力を育みます。

- ③児童生徒が働くことの意義や大切さを理解し、社会的自立や職業的自立に必要な能力や態度を身につけ、将来、地域社会で活躍できるよう、就業体験等をとおして地域の産業や仕事について学ぶ機会の拡充など、発達段階に応じたキャリア教育に取り組みます。また、新規高等学校卒業者等が就職した職場で能力を発揮しながら働くことができるよう、外部人材を活用した就職支援および職場定着支援を行います。あわせて、県立高等学校が開催するライフプラン教育に関する保育実習、講演会等について、関係団体等の協力を得て、各校の実態に応じた成果が得られるよう支援します。
- ④将来、国際的な視野を持ち、さまざまな分野で活躍していけるよう、留学や海外研修を促進するとともに、学校の枠を越えて議論する活動を充実します。
- ⑤小中学校をとおして、児童生徒が主体的に英語を用いてコミュニケーションを図る力を向上させるため、指導方法や評価方法についての実践研究を行い、その成果を普及します。中学校においては、生徒が4技能5領域（聞くこと、読むこと、話すこと（やりとり・発表）、書くこと）の力を総合的に伸ばせるよう授業改善の支援に取り組みます。また、中学生が郷土三重の魅力を英語で発信する取組や、地域の伝統や産業、地域の人々との関わりをとおして、主体的に学ぶ取組を推進します。
- ⑥AI等を活用して社会で活躍する人材の育成を図るため、EdTech（※1）を効果的に活用した学習によって課題解決型学習の時間を創出し、探究力や論理的思考力を育成するSTEAM教育（※2）を進めます。

※1 EdTech：教育におけるAI、ビッグデータ等のさまざまな新しいテクノロジーを活用したあらゆる取組

※2 STEAM教育：科学（Science）、技術（Technology）、工学（Engineering）、リベラルアーツ・教養（Arts）、数学（Mathematics）等の学習を実社会での課題解決に生かしていくための教科横断的な教育

主な事業

①高等学校学力向上推進事業【基本事業名：22201 主体的に社会を形成する力の育成】

（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4 教育指導費）

予算額：(R1) 20,294千円 → (R2) 16,496千円

事業概要：生徒の学力の定着・向上および自己実現を図るため、県立高等学校に対して指導・助言等の支援を行うとともに、指導方法や評価方法の工夫改善に係る研究実践を推進します。また、新学習指導要領の円滑な実施に向けて、教務担当者等を集めた会議を開催し、教育課程の編成や指導方法等に関する研究協議を行います。さらに、主権者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする意欲や態度を育むため、実践研究校を指定し、外部機関の協力を得て、効果的な学習プログラムを開発します。

②地域課題解決型キャリア教育モデル構築事業

【基本事業名：22201 主体的に社会を形成する力の育成】

（第10款 教育費 第1項 教育総務費 2 事務局費）

予算額：(R1) 28,894千円 → (R2) 24,222千円

事業概要：実践パイロット校を指定し、生徒が地域課題や地域の特色ある産業を題材に地域住民や職業人と関わりながら、実社会での実践活動に取り組むことで、地域の魅力と課題を知り、解決方策を考え実践する人材を育成します。また、学校と地域をつなぐコーディネーターを配置します。これら実践パイロット校での取組をふまえ、学識経験者や地域関係者等で構成する推進委員会を設置し、他者と協働する力や自己と社会の関わりを考える力など、これからの社会の変化に対応するために必要な力を育成する「地域課題解決型キャリア教育」のモデルを構築します。

③未来へつなぐキャリア教育推進事業【基本事業名：22202 キャリア教育の充実】

(第10款 教育費 第1項 教育総務費 4 教育指導費)

予算額：(R1) 26,397千円 → (R2) 22,091千円

事業概要：課題解決型のインターンシップや地域の職業人による出前講座などをとおして、社会的・職業的自立に必要な資質能力を育成するとともに、就職アドバイザーを高等学校に配置して就職支援および職場定着支援を行います。また、外国人生徒および保護者が日本の学校制度や働き方について理解を深め、将来の生活を見通して進路を選択できるよう、就職アドバイザーを県立高校に配置するとともに、進学・就職に関する助言やセミナー等の支援を行います。さらに、高校生が将来の家庭生活や家族の大切さについて認識を深められるよう、ライフデザインや結婚、子育てをテーマとした講演会等を実施します。

④「挑戦・交流・進化」で紡ぐ職業教育推進事業【基本事業名：22202 キャリア教育の充実】

(第10款 教育費 第1項 教育総務費 4 教育指導費)

予算額：(R1) 28,030千円 → (R2) 27,221千円

事業概要：変化の激しい産業界で活躍できる人材を育成するため、全国規模の競技会への参加や看護・介護の実習を支援するとともに、平成31年4月に設置した伊賀白鳳高等学校建築デザイン科における学習環境の整備を進めます。また、農業学科の生徒が、GAP（農業生産工程管理）を生かした流通や販売に関する学習の充実を図ります。

⑤世界へはばたく高校生育成支援事業【基本事業名：22203 グローカル教育の推進】

(第10款 教育費 第1項 教育総務費 4 教育指導費)

予算額：(R1) 13,847千円 → (R2) 18,601千円

事業概要：高校生の長期・短期留学の促進および海外研修旅行の実施をとおして、グローバルな視野を育み、主体性や積極性の向上を図るとともに、高校生を対象にした「レベル別英語ディベートセミナー」を開催し、英語での発信力や論理的思考力の向上を図ります。また、高校生の科学に対する興味・関心を高める三重県高等学校科学オリンピック大会を開催します。

⑥（一部新）英語教育推進事業【基本事業名：22203 グローカル教育の推進】

(第10款 教育費 第1項 教育総務費 4 教育指導費)

予算額：(R1) 810千円 → (R2) 2,391千円

事業概要：小学校においてモデル校を指定し、市町と連携して効果的な指導方法等に係る実践研究を行い、その成果を普及します。中学校においてモデル地域を指定し、多様な音声や教材が利用できる英語教材作成支援システムを導入し、授業改善に取り組みます。また、中学生が三重の魅力英語を一枚紙にまとめて発信する「ワン・ペーパー・コンテスト」を実施し、ふるさと三重を英語で発信できる力を育てます。

⑦（一部新）課題解決型学習（PBL）を通じた新しい郷土教育推進事業

【基本事業名：22203 グローカル教育の推進】

（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4 教育指導費）

予算額：(R1) 244千円 → (R2) 397千円

事業概要：郷土について誇りと愛着を感じ、将来地域で活躍する意欲と態度を身につけることができるよう、中学生が学校や地域の課題について解決策を考え、提案する課題解決型学習（PBL）の手法を取り入れた取組を支援するとともに、その成果を発表する実践発表会を実施します。

⑧（新）学びのSTEAM化推進事業

【基本事業名：22204 知識を活用して新たな価値を創り出す力の育成】

（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4 教育指導費）

予算額：(R1) ー 千円 → (R2) 4,410千円

事業概要：Society5.0の時代を生き抜く人材を育成するため、EdTech（Education+Technology）を活用した個別最適型の学びを推進するとともに、Science、Technology、Engineering、Arts、Mathematics を活用した文理融合の課題解決型教育をとおして、探究力、論理的思考力を育成する「学びのSTEAM化」の実証研究を行います。また、その成果を発表するとともに、県内の高等学校に広く周知を図るため、「三重STEAM教育フォーラム（仮称）」を開催します。

⑨（一部新）情報教育充実支援事業

【基本事業名：22204 知識を活用して新たな価値を創り出す力の育成】

（第10款 教育費 第4項 高等学校費 2 高等学校管理費）

予算額：(R1) 450,208 千円 → (R2) 992,194千円

(450,208 千円 → 2,268,973千円 ※2月補正含みベース)

事業概要：EdTechを活用できる基盤として、県立学校に無線LAN環境と電子黒板等の大型提示装置、学習用パソコンを整備し、子どもたちが他者と協働して課題を解決する力等を育むプロジェクト型学習や、生徒一人ひとりの関心・理解度に応じた教科学習（個別最適化学習）等を推進します。